

チャレンジ工房News

第57号

平成27年12月発行
発行先 パソコン工房チャレンジ
編集責任者 曲 圭子
イラスト Aya・keiko

来年のオリジナルカレンダーができました・・・

先月号のニュースの別紙でもご紹介させて頂きましたが、当工場の来年2016年のオリジナルカレンダーが完成いたしました。

昨年度から当工場の工賃仕事の一つとして、取り組み始めたカレンダー作りも今年で2年目になるので、去年の反省や課題点を踏まえ、去年のように「壁掛けカレンダー」やハガキサイズよりやや大きめの「A5サイズの卓上カレンダー」といった多くの種類を欲張って作るのではなく、去年一番売り上げがあった葉書サイズの卓上カレンダーに特化して、「質の高いカレンダー」を制作することを目指しました。

1種類の卓上カレンダーだけでは、あまりにも寂しいので去年と同様、Ayaさんの季節感があるイラストをメインにした「オリジナルカレンダー」と和のイメージを基調にした「花言葉カレンダー」の2種類のはがきタイプの卓上カレンダーを作ることになりました。

去年は、Ayaさんも本格的にイラストレータをやり始めてから日が浅かったので、部分的にAyaさんが描いたイラストをほとんど私が、Ayaさんのイラスト一つひとつの雰囲気を大事して、カレンダーの全体のイメージも考慮しながら、デザインして、一つのカレンダーに仕上げていきました。

Ayaさんからも「今年は、カレンダーのデザインも私にさせてほしい」とのことだったので、カレンダーの枠線を作ったり、日にち・曜日を入力するなどの細かい作業以外の「オリジナルカレンダー」のすべてのデザインをAyaさんに任せました。

Ayaさんも今年のカレンダーのイラストと同じにならないように、その月々に応じたイラストを12ヶ月分頑張ってくれました。

まだまだAyaさんも一つひとつのイラストを描くだけで精一杯なところがあって、イラストを立体的に描いたり、カレンダーの全体の雰囲気やデザインを考えて描くことは苦手のようで、どうしても平面的なイラストになったり、デザインの統一感が取れない単品のイラストになってしまうようです。

カレンダーを購入して下さる方々に「Ayaさんも去年より、イラストを描く腕が上がったね」と言ってもらいたい一心で、私もAyaさんに「もう少しストーリー性があるデザインにしてほしい」とか「ぼかしやシャドウなどの効果を使って、より立体的なイラストにしてほしい」とかの細かいところまで色々注文をつけました。

彼女も私の思いに答えようと必死にしてくれ、時には深夜2時頃まで自宅で作業してくれたり、時にはAyaさんと私達スタッフで夜の7時過ぎまで工房に残り、実際にイラストレーターを触りながら「ああでもない、こうでもない」と言ったりしてAyaさんと納得がいくデザインのカレンダーに仕上げました。

カレンダーをデザイン・制作していた期間、Ayaさんと私の自宅での夜中仕事は毎日のように続いたので、途中お互いの体調を心配し合うこともありました。夜中まで頑張ってデザインした甲斐があって、今年は「オリジナルカレンダー」と「花言葉カレンダー」の2つの自信作を作りあげることができました。

まだまだデザイン的にも機能的にも100%の出来とはいえない難しいのですが、毎年のカレンダー作りなどを通じて、Ayaさんと共にイラストレーターの技術を磨いていき、年々デザイン的にグレードアップしたオリジナルカレンダーを制作・販売していけたらと考えています。



12月の予定

12/21(月) クリスマス会
12:00~15:00

※ 詳しくは、裏面を見てください。

12/29(火)~1/6(水) 冬期休暇

※ 上記の9日間、所員・スタッフの心身ともリフレッシュを図るため、冬期休暇を頂きます。

※年始は、1/7(木)より開所します。



「チャレンジ美術館オリジナルカレンダー」
「花言葉カレンダー」

各500円

お問い合わせ : パソコン工房チャレンジ
TEL・FAX 06-4981-8120

東北・仙台に行ってきました



先月8日・9日に仙台で身体障害者の水泳の日本選手権があり、出場しに2泊3日で行って来ました。

今回は、東北仙台で開催されたということもあって、東海道・東北新幹線を乗り継いで、片道5時間近くもかかる長旅でした。

東街道新幹線には、障害者が優先的に利用できる広めの多目的室(個室)や車いすトイレが整備されていますが、東北新幹線は、多目的室もなく、一般席の車いす席も介助用の車いすの幅しかなく、とても狭かったり、また仙台市内の飲食店やホテルも出入り口にちょっとした段差があったり、明らかに車いすでは入ることができない幅の店舗が多く・・・。

それに3日間の滞在中、一度も車いすで街を歩いている地元の障害者の方を見かけることができず、改めて地方のバリアフリーの整備や福祉の遅れを肌で感じる事ができました。

日本選手権の初日、自分のレースが終わったあと時間ができたので、「仙台まで来たので、被災地の今の現状をひと目みよう」と思って、JRの仙石線の「陸前高砂駅」から七北田川沿いに沿って1時間半、今回の仙台行きに同行してくれたヘルパーさんと海岸の方に向かって歩いてみました。

陸前高砂駅周辺は、新しい住宅やスーパーなど立ち並んでいて一見、復興しているように見えたのですが、海岸の方に向かえば向かうほど、津波によって流されたと思われる工場跡地や住宅の跡地ばかりで、現在も工場など建設される予定もなく、枯れ木に覆われた荒地のままになっていました。

七北田川を下流の方に行ったところの住宅街に小さなお寺があり、その周辺は、空き家の住宅と空き地になっているところが多く、街灯の明かりもあまりないので、寂しく震災の傷跡を物語っているような気がしました。

お寺は、川をすぐそばにあったので「きっと、このお寺は震災時の大津波に耐え、今も一日でも早い地域の復興を静かに見守っているのだろう」と思い、私も一日でも早い東北の被災地の復興を祈って、手を合わせてあとにしました。



本当は海岸の辺りまで歩きたかったのですが、日が暮れてあたりがすっかり暗くなっていたので急いでホテルに戻りました。

大会の方は、去年東京での日本選手権にて、出した自己ベストタイムを更新することはできませんでしたが、何でも言い合えるぐらい仲がいいヘルパーさんと行くことができたので、私自身かなり心身ともにリラックスを泳ぐことできて、自分が目標にしていたタイムをクリアすることができました。

今後も業務に差し支えない程度で日々練習に励み、来シーズンも大会に出場することを目標に頑張りたいです。ありがとうございました。(曲 圭子)

2015 チャレンジ工房クリスマス会&忘年会のご案内

今年も早いもので年の瀬の12月になりました。

今年も工房の1年の締めくくりのレク活動として、12/21(月)にクリスマス会を兼ねた忘年会をやります。

工房内でのレク活動を所員さん・スタッフ揃って楽しむ機会が、最近あまりないこともあって、クリスマス会は是非、所員さんとワイワイ言いながら今年1年を締めくくりたいと思っています。

サンドイッチなどの軽食・クリスマスケーキやビンゴゲームとかの楽しいゲームを用意して皆様のご参加お待ちしております。

日時：12/21(月曜日) 12:00 ~ 15:00

場所：チャレンジ工房

会費：200円

